

# 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名： 環境生活部

## 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	みえ県民交流センター（津市羽所町700番地 アスト津3階）
指定管理者の名称等	特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター 代表理事 松井 真理子 （四日市市萱生町1200 四日市大学 特定非営利活動法人市民社会研究所内）
指定の期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	1 施設等の利用に関する業務 2 市民活動促進及び国際化の推進のための業務 3 市民活動に関する情報の受発信に関する業務 4 地域NPO支援組織の機能向上・連携交流に関する業務 5 利用料金の収受に関する業務 6 施設の維持管理に関する業務 7 その他施設の管理運営上必要と認める業務

## 2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H24	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設、備品について良好に管理するとともに、積極的に節電に取り組むなど、安全や環境に配慮した施設運営を行うことができた。</li> <li>市民活動促進及び国際化の推進に関する各種セミナー・イベントの開催や、県内中間支援団体等とのネットワークを生かした「市民活動・NPO月間」の実施など、地域の市民活動センターとしての役割を果たした。</li> <li>助成金情報やボランティア案内など、利用者から要望の高い情報については、ホームページ、SNS、情報誌等でわかりやすく発信するなど、利用者サービスの向上に努めた。</li> <li>「市民の伊勢志摩サミット」の開催など、県内外のNPO等との連携を強化することで、新たなネットワークを構築することができた。</li> </ul>
H25	B		
H26	B		
H27	B		
H28	B		

## 3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H24	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>外部委員会やアンケートを実施しながら利用者ニーズを把握し、快適な施設環境を整備するとともに、効果的な情報発信を行ったことで、毎年6万人以上の来館者を確保することができた。</li> <li>駅に隣接した利便性に加え、利用しやすい柔軟な予約システムにより、毎年約4千団体が利用した。</li> <li>コーヒーコーナーの設置など、指定管理者による独自の取組により、利用者サービスの向上を図った。</li> </ul>
H25	B		
H26	B		
H27	B		
H28	B		

## 4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	144,752,000	事業費	149,904,699
利用料金収入	6,801,560	管理費	11,662,739
その他の収入	10,470,108	その他の支出	0
合計 (a)	162,023,668	合計 (b)	161,567,438
収支差額 (a)-(b)	456,230		

※参考

利用料金減免額	0
---------	---

## 5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	H28目標値	H24実績値	H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値
H24	B		センター来館者数	60,000人	63,121人	64,993人	61,779人	63,946人	62,320人
H25	B		センターが把握する県内NPO(ボランティア団体・市民活動団体)の増加数	100団体	118団体	207団体	32団体	103団体	139団体
H26	B	-	指定管理者が実施した人材育成事業への参加人数	100人	105人	143人	178人	143人	130人
H27	B		ネットワークに参加する県内外の中間支援団体、企業等の様々な主体の数	20団体増 ／5年					40団体増 ／5年
H28	B								
全期間におけるコメント									
<p>・「センター来館者数」については、適切な施設管理や多様な事業展開が利用者ニーズをとらえた結果、成果目標をすべて達成することができた。</p> <p>・「センターが把握する県内NPO(ボランティア団体・市民活動団体)の増加数」については、平成26年度以外は成果目標をすべて達成した。平成26年度は、活動を行っていない団体の情報を積極的に削除した影響で目標値には達しなかったが、情報の質を向上させることができた。</p> <p>・指定管理者が独自に設定している成果目標「指定管理者が実施した人材育成事業への参加人数」については、各市町の市民活動センターや行政との連携、会計や資金調達に詳しい外部講師の招へいなど、質の高い講座の開催に努めた結果、成果目標をすべて達成することができた。</p> <p>・指定管理者が独自に設定している成果目標「ネットワークに参加する県内外の中間支援団体、企業等の様々な主体の数」は、平成28年度に開催した「市民の伊勢志摩サミット」の運営等において、県内外の中間支援団体等とネットワークを構築したことにより、成果目標を達成することができた。</p>									

## 6 総括評価

<p>・施設、備品について良好に維持管理を行うとともに、外部委員会からの意見聴取やアンケートを実施することで、利用者にとって安全で快適な施設環境の整備に努めた。</p> <p>・市民活動団体のニーズや課題を把握するとともに、県内の市民活動センターと連携した講座や、外部講師を招いた実践的なワークショップといった質の高いセミナーを開催し、参加者の満足度は高いものとなった。</p> <p>・平成25年度から、県内の市民活動センター等と連携しながら「市民活動・NPO月間」を実施しており、県内各地でのイベント開催など、市民活動やボランティアに関する啓発につながった。平成27年度からは協力団体による企画を公募するなど、より主体的な取組を実施した。</p> <p>・ホームページ、SNS、情報誌の発行により、市民活動に関する情報の受発信を効果的に行った。</p> <p>・県内の中間支援団体等が意見交換を行う場を設けるなど、より良い中間支援のあり方を検討し、今後のさらなる連携やサービス向上につなげることができた。</p> <p>・県外のNPO等とネットワークを構築しながら、政策提言や課題解決など、県域での活動を活発に行った。</p> <p>・利用者の意見をふまえたサービスや情報発信により、安定した来館者数と施設利用者数を確保することができた。</p> <p>・平成26年度の「センターが把握する県内NPO(ボランティア団体・市民活動団体)の増加数」以外、すべての成果目標を達成した。</p> <p>以上のことから、みえ県民交流センターの指定管理者として、県域の市民活動センターとしての役割を十分に理解した管理運営を行っていることと評価できる。平成29年度以降も同指定管理者が管理運営を行うが、今後も県内外のネットワーク機能を生かした取組や、利用者満足度の高い事業の実施に期待する。</p>
--

※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :

- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。  
「B」 → 業務計画を順調に実施している。  
「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。  
「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※ 「3 施設の利用状況」  
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :

- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。  
「B」 → 当初の目標を達成している。  
「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。  
「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

※ 県の評価 :

- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。  
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。  
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。